

双ヶ丘中だより



京都市立双ヶ丘中学校 1/5 第25号 文責 林

学校教育目標 「自らの未来を切り拓く、心豊かな生徒を育成する」

3期が始まる

明けまして、おめでとうございます。今年もよろしくお願ひいたします。年末年始は、穏やかな日が続き、特に正月3が日は、3月並みの気温になり過ごしやすかったです。今日から3期が始まりますが、冬休みは有意義に過ごせましたか。やるべき事はしっかり実行できたでしょうか。以前、先輩の先生から聞かされたのですが、「3学期（3期）は、新しい学年のO学期（O期）として考えてほしい。つまり、4月からの準備期間として3期を過ごしてください。」ということです。3期は、1月から3月までと短く、1月は「行く」2月は「逃げる」3月は「去る」といって早く過ぎていきます。特に3年生は、進路決定に向けて大切な時期ですから、なかなかゆっくり物事を考える時間がとれません。しかし、意識をして物事を考える時間をとって、準備を進めてほしいものです。

「1年の計は、元旦にあり」といいます。生徒の皆さんには、今年の目標を決めましたか。目標というのは達成できることと自分で考えられるものでなければいけません。達成できそうにないことを目標にしても意味がありません。ただ、簡単に達成できそうなことを目標にしてもだめです。ですから目標を決めるのは意外にむずかしいことなのです。また、目標を決めるときに長期の目標と短期の目標を分けてみるのも大切です。長期の目標とは、言い換えれば5年後、10年後の自分はこうありたいと想像してみることです。短期の目標とは、日々の目標です。毎日の生活でこれだけは実行しようとする具体的な目標です。「早寝、早起きをして規則正しい生活を送る。」「好き嫌いなくバランスのよい食事を心がける」「2時間の家庭学習を行う」などです。短期の目標を地道に達成していくことで長期の目標達成に近づいていきます。目標が決められていない人は、ぜひ早く目標を決めてください。

3期も全員の生徒が笑顔で、元気に充実した学校生活を送ってくれることを願っています。

雜感

最近の新聞記事に気になる記事がありました。「若者は買わない」という見出しの記事です。記事には、若者はものを買わなくなってきた。家や車など従来あこがれだった商品も仲間と分かち合って使う傾向にあり、旅行や友人たちとの時間に重きをおくようになってきたとありました。私が若いときは、確かに家や車はあこがれで、いつかは手に入れたいと考えましたので大きな変化です。また、29歳以下の若者の平均貯蓄率は20.8%と他の年代と比べて群を抜いて多いそうです。理由として将来への不安や年金など社会保障への信頼感の低さが考えられますが、「消費が少なくて生活の満足度が高い」という若者の意識の変化も大きな理由だと考えられます。気の置けない友人と家や車を分かち合う（シェアハウスやカーシェア）ことを通して友人との時間を大切にしようとしているのでしょうか。時代の流れを感じます。気の置けない友人と長くよい関係でいるためには、他人への思いやりや他人の価値観を認めていくことがますます重要になってきます。他人の考えていることを想像して、思いやりのある言動を行っていくことも大切です。

最近の新聞の記事から思うことを書きました。

